

## TANAKAホールディングス、 中央労働災害防止協会会長賞を受賞

労働災害防止活動への取り組みが評価

田中貴金属グループの純粋持株会社であるTANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、中央労働災害防止協会（以下、中災防）より平成30年度の中央労働災害防止協会会長賞を受賞し、10月17日に横浜市で開催された「第77回全国産業安全衛生大会」において表彰状を授与されました。

中央労働災害防止協会会長賞は、中災防の事業活動に深い理解を有し、産業安全及び労働衛生の推進向上に努め、著しい成果を収めるとともに、広く地域または業界に対して普及啓発に尽くし顕著な功績が認められる企業等を表彰するものです。

TANAKAホールディングスは、中央安全方針に「安全を最優先し、安心で・明るい職場を確立する」を掲げ、全社的な安全総点検の実施など、はさまれ・巻き込まれ災害防止を重点に労働災害防止活動に取り組み、顕著な成果をあげたことが評価され、このたびの受賞に至りました。

TANAKAホールディングスは今後も、中期経営計画における中央安全方針「安全を最優先し、安心で・明るい職場を確立する」の下、2020年のありたい姿「相互に協力し、安全・安心・明るい職場を維持している」の実現に向けて全社員が協力して安全管理活動を実行していきます。



表彰式の様子

### TANAKAホールディングスの主な安全管理活動内容

- 各事業場の新任総括安全衛生管理者は安全衛生トップセミナーを受講し、トップの安全管理能力の維持に努めている。
- 国内全事業場で、2015年度より3年間、中災防の安全管理士による安全診断を受診し、指摘、推奨事項に基づく改善策を実施。
- 2017年度に、作業場での重篤な災害防止を目的として、国内全事業場にてはさまれ・巻き込まれに関する安全総点検を実施。2017年9月までに見出されたすべての不安全箇所の改善を完了し、2017年度下期における国内事業場の作業現場での労働災害発生0件を実現。

- ・ 最近の10年間の国内事業場での休業4日以上労働災害年千人率は、1.0を下回っている。
- ・ 2018年度は事業場ごとに重点項目を設定した安全総点検を行い、さらなる改善を進めている。
- ・ 2018年に中災防の出張教育を利用し、衛生管理者を対象とした衛生管理能力向上教育を社内にて実施。

■TANAKAホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング22階

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年※ 資本金：5億円

グループ連結従業員数：5,034名（2017年度）

グループ連結売上高：9,766億1300万円（2017年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HPアドレス：<https://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<https://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

※2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016年にMetalor Technologies International SAをグループ企業として迎え入れました。

今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・ TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社